

砺波カイニヨ倶楽部会報

第二号

平成九年八月二十一日発行 発行者 砺波カイニヨ倶楽部 代表幹事 柏樹直樹
事務局 天野一男建築工房内 富山県砺波市表町七・二十五
TEL0763・33・6588

□ 自然態の屋敷林にふれる

第一回例会に五十一名参加

七月四日午後、倶楽部の第一回例会を、根井仁一氏宅（城端町）屋敷林で「植生と組み合わせ」をテーマに開いた。五十一名の参加者は、熱心に林内を歩き、屋敷林の重みを堪能した。

はじめに、柏樹直樹代表幹事が「屋敷林とかかわってみえる御苦労を充分心しながら交流の深さを理解しあおう」と挨拶した後、根井さんから歓迎の言葉をうけた。

つづいて、和田健会員が「植生の配置と特徴」を（左記）広い屋敷林の全面にわたって案内説明した。特に大木と小木の組み合わせ、林内の山野草、果樹や花木の導入状況など、現地でその内容が沢山。

一巡し、裏庭で腰をおろし一息した後、新藤正夫会員が「屋敷林の役割」を、特に風との関係にて説明後、柏樹幹事の見学してのまとめと、参加者からの意見や質問が出された。

主な質問は「ケヤキの樹齢は」「サボテンが露地に入っているが」「どうして大木が複数で成立しているのか」「スギ枯損がめだつ、対処策を急いでほしい」等が出された。

この後、福光町宗守の聴信寺（石黒大俊宅）のスタジイを見学し、住職から歴史や特徴、お寺の由来等の説明をいただき、五時過ぎに現地解散した。

□ 和田会員の植生案内概要

- 一 東面のコウヨウザン・スタジイ・ケヤキの組み合わせと根の張り方の面白さを見る。
- 一 中木にキンモクセイ・モミジ・シロダモが入り東面全体をつつむ。
- 一 東南面にタイサンボク・ホオノキ・ユズ・ザクロ・ツバキの花や実のなる木が入る。
- 一 南から西南は、スギが主木で枝うちも山づくりの手法でやられていて活気がある。
- 一 西側はハンノキ・ケヤキ・スギの大古木が主木となり中間にカヤ・ヒノキ・スギ・ヒサカキが支えとなつて入る。
- 一 西北面には、スギとモウソウチクが、北東面にはカキ・ウメ・カシ・ナシ・オニグルミが大小組みあわさつて入る。
- 一 林内の各所に山野草が群生し、屋敷の廻りにスギの生垣がある。

□ 第一回見学会についての感想

先日の見学会はとても満足しました。敷地内まで入って屋敷林のよさを実感できました。年に数回行なつてほしいと思います。自分は小矢部の町中に住んでいますので屋敷林は夢のようです。将来、仕事をリタイヤしたら散居村に住みたいとは思っています。……

又、自分は建築にも興味がありますので、屋敷林に似合う建築等について専門家の意見も聞かせてもらえばと思います。倶楽部のコンセプトですが、年配の方も多いいので、カイニヨ倶楽部Ⅱ樹木(庭木)の趣味の会という風にはなつてほしくはないと思います。樹木その物より、そこから多様な事を学んでいく姿勢が大切で、間口を広くとつて活動を続けてほしいものです。根本には、樹木から自然と人間の共存を学び、数百年の大木からは畏敬の念を感じとり、人間と自然、その他の生物に対する思いあがりやを反省する心を持つ事が重要だと思ひます。とりとめもありませんが、今後共よろしく御指導願ひます。

(S・T)

砺波カイニヨ倶楽部の皆様へ

先日は、屋敷林の見学会に参加させていただき、ありがとうございます。ごまかせんでした。今まで、こういう機会もなく、遠目に外観しか見たことがありませんでした。根井さん宅は、想像をこえた立派な庭で、しかもあまり装飾的でなく、緑が生き生きと美しく感じられました。あの真つ直ぐのびたケヤキの樹は、とてもすばらしく幾年月生きて、根井家の人々を見守つてきたのかなどと想像すると、樹木の自然のすばらしさを感じます。

石黒さん宅のスタジイは、中で見ると外から上の方の枝ぶりを見るのとでは、樹の表情が違いとても興味深く感じられました。堂々と風格のある樹でした。ほかに教えきれないほどの(よく名前を知らない)緑があふれていて、本当に見ていて幸せを感じました。

さて、私達は女性の集まり(栄養士、主婦、OL、看護婦、等)「食」(口に入る物すべて)から、人間の生き方、地球のことまで考えを拡げたい。こうという夢実現のために店を持ちたいと願っています。屋敷林のある家でそういうことができればいい。「食」のことを考えることは、今大切なことなのです。化学物質(農薬、食料、添加物等、食品に加えられるあらゆる化学物質)のない「食」を作っていくことが、自然の理にかなうことだと考えています。それで、こんな私でもよければ、私をカイニヨ倶楽部に入れて下さい。

(T・Y)

《どうぞ、入会 大歓迎です。》

□ 会員からの意見と希望

- ◎ 見学会のみならず、屋敷林で、未来を語る会（歴史・現在等）といった企画があればいいと思います。夏なら夕涼会など・・・
- ◎ 一般会員は、それほど知識を有しないと思われるので、できる限り知識を深めるために、いろんな機会や情報、現場等にふれたらよいと考えます。
- ◎ 従って現場に向き、あるいは調査にたずさわり、または話し合いの場に出席したいと思えます。
- ◎◎ 病気の木や枯木について講習会のような、お話し合いの場をもうけて下さい。息の永い活動をするために地味な内容を、政治に係わることなく、会員が主役でお互いに協力しあえる会であることを希望致します。
- ◎◎ 屋敷林については、従来の避寒・避暑等の長所とともに、二十一世紀への展望（キーワード||ゼロエツション||廃棄物ゼロ||建築生態学||省エネ・自然創造社会）を最近の先進事例等から学びつつ、旧来の良さが、将来の良さに結びつくことを解明したいものです。

※書籍紹介

吉村元男著

『エコハビタ・・・環境創造の都市』学芸出版社

★ 根井さん宅の見学風景

★ 石黒さん宅の記念写真

(スダジイを背景に)

■ 次回の行事予定

■ ワンポイント アドバイス

【台風後のカイニヨの掃除と豚汁会】

日時 後日連絡します。
内容 カイニヨの掃除の後、豚汁会

場所 光円寺 住所 砺波市久泉102
TEL 0763-3213274

集合場所 現地
会費 1000円 (当日集金)

用具は、竹ぼうき
箕と軍手
(各自準備)

申し込み
事務局

友人お誘い合わせてどうぞ。左記に案内図。
はがき又はTEL・FAXで。
天野一男建築工房内 砺波市表町七―二五
TEL, FAX 0763-3316588

カイニヨの掃除 光円寺案内図

○ 上部に枯れ枝や枯れ葉があり、葉の色艶が悪く、樹に異変がおきている。害虫、外傷などを点検。主根の異常がある。

○ 中部に枯れ枝や枯れ葉があり、葉の色艶が悪く、上根が弱っているケースが多い。過多肥料の場合もある。

○ 下部に枯れ枝や枯れ葉があり、葉の色艶が悪く、樹勢が弱くなっている。密植、枝葉の茂りすぎが考えられる。根が古くなつて代謝に支障が出ている。